

## 第5章 産業・経済の分野

### ▶ 施策展開の方向（基本構想より）

産業の活力を高め、躍動する都市づくりを進める

多様な業務機能の集積を図るなど、都市機能の高度化を進め、自立都市づくりに取り組みます。

産学官連携、異業種交流などを通じた人や情報のネットワークづくりを促進し、地域産業の育成を図るとともに、市内企業・事業所活動の活性化に取り組みます。

起業の支援や NGO・NPO 活動の活性化などにより、都市型生活関連産業や情報・環境関連産業、コミュニティビジネスなどの新しい産業の創造に積極的に取り組みます。

人々が集い、出会い、買い物を楽しめる憩いと賑わいの空間を創出するとともに、時代の変化に対応できるよう商業・サービス業の振興を支援します。また、地域資源を活用しながら、魅力ある観光の振興を図ります。

農業の多面的な機能を重視しながら、市内に残された優良農地の維持を図り、都市農業の活性化に取り組みます。

ライフスタイルに応じた多様な就業機会の創出、雇用促進の支援を図ります。

### ▶ 施策体系（基本計画より）

#### 第1節 次代を牽引する新しい産業の育成

- (1)新しい生活産業の育成
- (2)高度な業務機能の集積
- (3)世界に挑戦する創造型産業づくり

#### 第2節 生活関連産業の振興

- (1)商業・サービス業の振興
- (2)中小企業の活性化の支援
- (3)観光の振興
- (4)農業の多面的な振興
- (5)地域社会に対する貢献と調和の支援

#### 第3節 産業活動の活性化の環境づくり

- (1)人・情報のネットワークづくり
- (2)起業・創業に対する支援
- (3)就業の促進
- (4)勤労者福祉の充実
- (5)支援体制の整備

## 第1節 次代を牽引する新しい産業の育成

### ■ 施策体系

#### 次代を牽引する新しい産業の育成

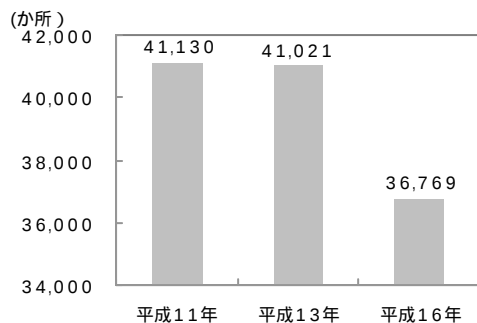
- (1)新しい生活産業の育成
- (2)高度な業務機能の集積
- (3)世界に挑戦する創造型産業づくり

#### 施策の方向性

今後高い成長が期待され、将来の本市の中核を担う産業群を育成します。  
国内外企業の拠点・事業所などの誘致を進めるとともに、市内企業の海外進出を支援します。

#### 参考データ

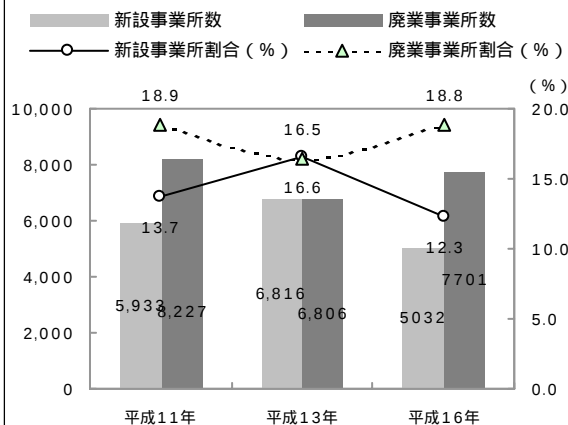
##### ● 市内の事業所数の推移（民営事業所のみ）



資料：事業所・企業統計調査

注）各年とも岩槻市を含む

##### ● 市内事業所の新設及び廃業事業所割合

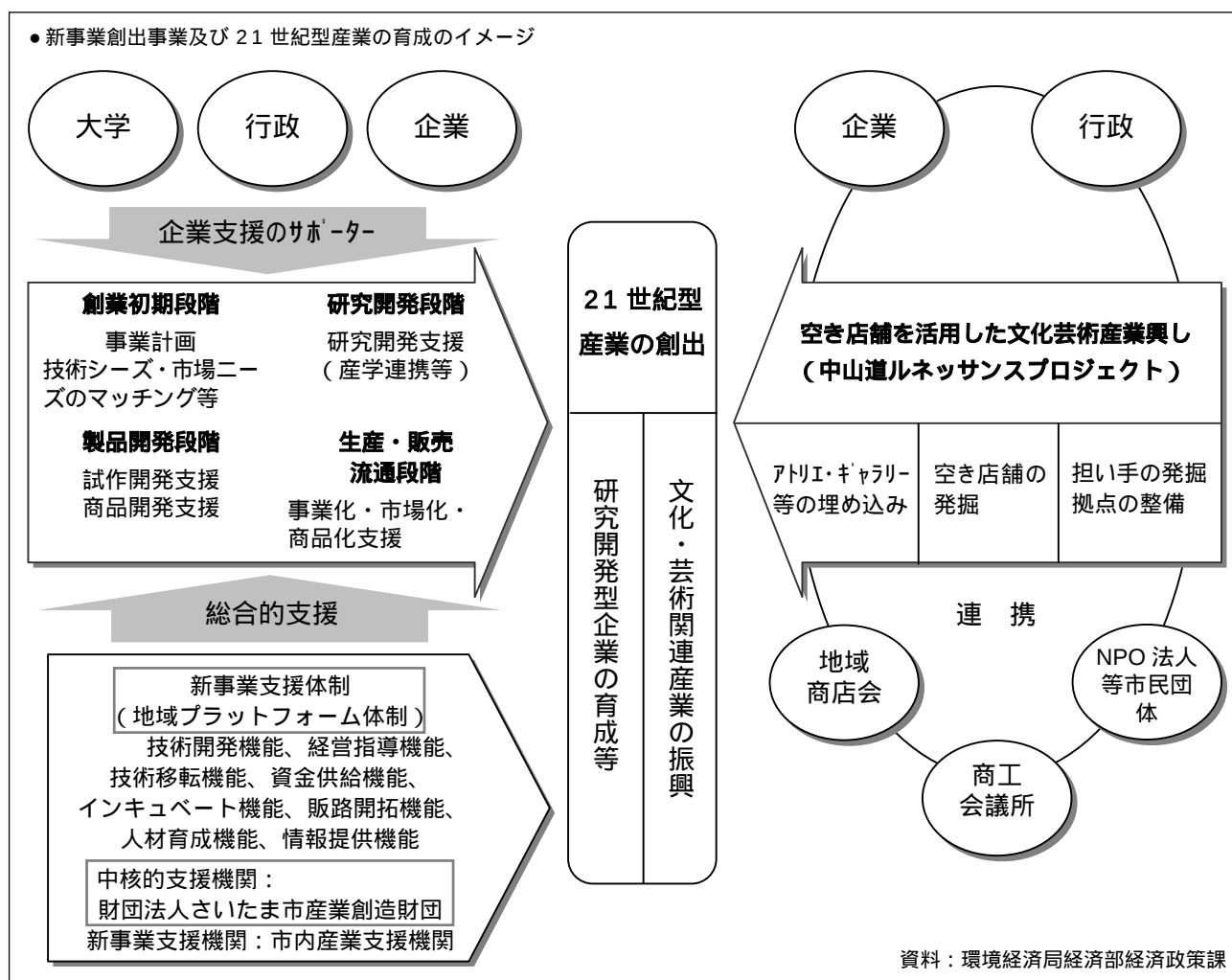


資料：事業所・企業統計調査

注）各年とも岩槻市を含む

## ■実施計画事業

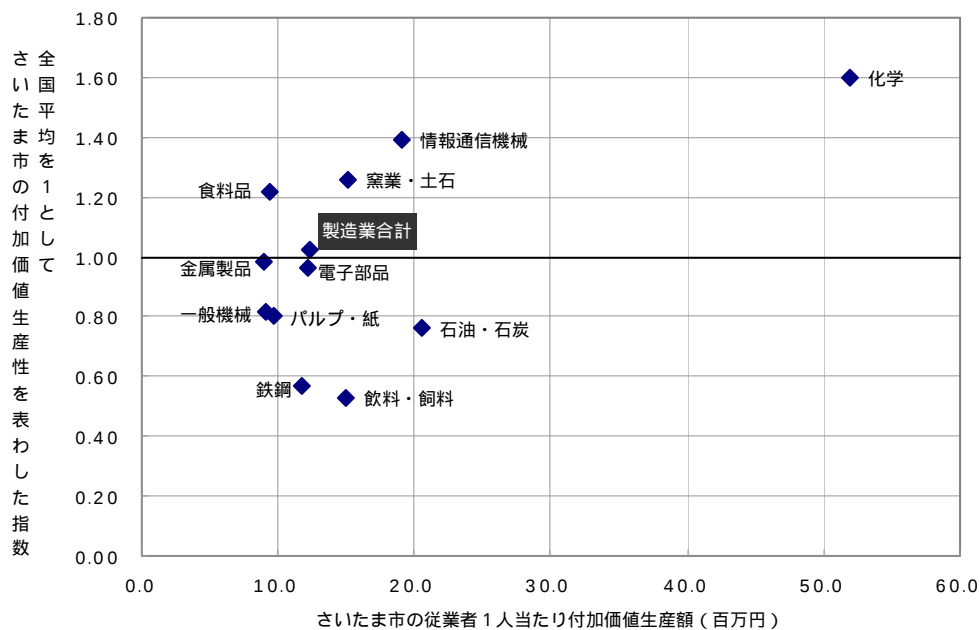
| 事業の名称と概要<br>〔担当課室〕                                                                                                                                        | 計画目標         |         |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|
|                                                                                                                                                           | 現況〔平成17年度当初〕 | 平成20年度末 |
| <b>21世紀型産業の育成</b><br>ものづくりを中心とした多様な産業で構成される新しい産業都市を構築し、自立性の高い経済基盤を確立するため、研究開発型企業、国際中堅企業とその期待がされる企業、ライフサイエンス産業を軸に、21世紀型産業の育成を図ります。<br>〔経済政策課〕              | 推進           | 推進      |
| <b>新事業創出事業</b><br>さいたま市産業創造財団を中核とする産業支援機関による支援体制を構築することにより、創業から事業化までの一貫した支援を実施します。特に、医療福祉、新製造技術、環境、情報技術、コミュニティビジネスの5分野を重点分野に定め、積極的な施策の展開を図ります。<br>〔経済政策課〕 | 推進           | 推進      |



| 事業の名称と概要<br>〔担当課室〕                                                                                                                                                            | 計画目標              |                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------------|
|                                                                                                                                                                               | 現況〔平成17年度当初〕      | 平成20年度末                 |
| <b>戦略的企業誘致の促進</b><br>産業経済の活性化、新たな雇用機会の創出などのために、企業誘致活動方針に基づき、関係機関と連携し、情報発信、企業発掘活動、立地支援等を行い、企業の誘致を促進します。また、国際化推進施策を強化するために、埼玉国際ビジネスサポートセンターを核として積極的な外資系企業の誘致を行います。<br>〔産業展開推進課〕 | 構想・検討             | 企業立地件数<br>30社<br>(19年度) |
| <b>商工見本市の開催（再掲 p105）</b><br>市内外の製造業を中心とする展示会を開催し、商工業の振興を図ります。<br>〔経済政策課〕                                                                                                      | 来場者数<br>45,000人／年 | 50,000人／年               |
| <b>企業活動の国際化推進事業</b><br>埼玉国際ビジネスサポートセンターと連携しながら、市内企業の海外取引や海外都市との経済交流を推進します。<br>〔産業展開推進課〕                                                                                       | 推進                | 推進                      |

●さいたま市内の製造業の従業者1人当たり付加価値生産額

- ・付加価値生産額とは、事業所の生産活動において、新たに生み出された価値のこと。例えば、販売額から原材料費などのコストを差し引いた金額。
- ・さいたま市の従業者1人あたり付加価値生産額(付加価値生産性)の全国平均に比べた大小を示したもの(全国平均 = 1)。従業者1人当たりの付加価値額(=付加価値生産性)を全国平均と比較することにより、本市における生産性の“相対的優位性”を示す参考資料である。



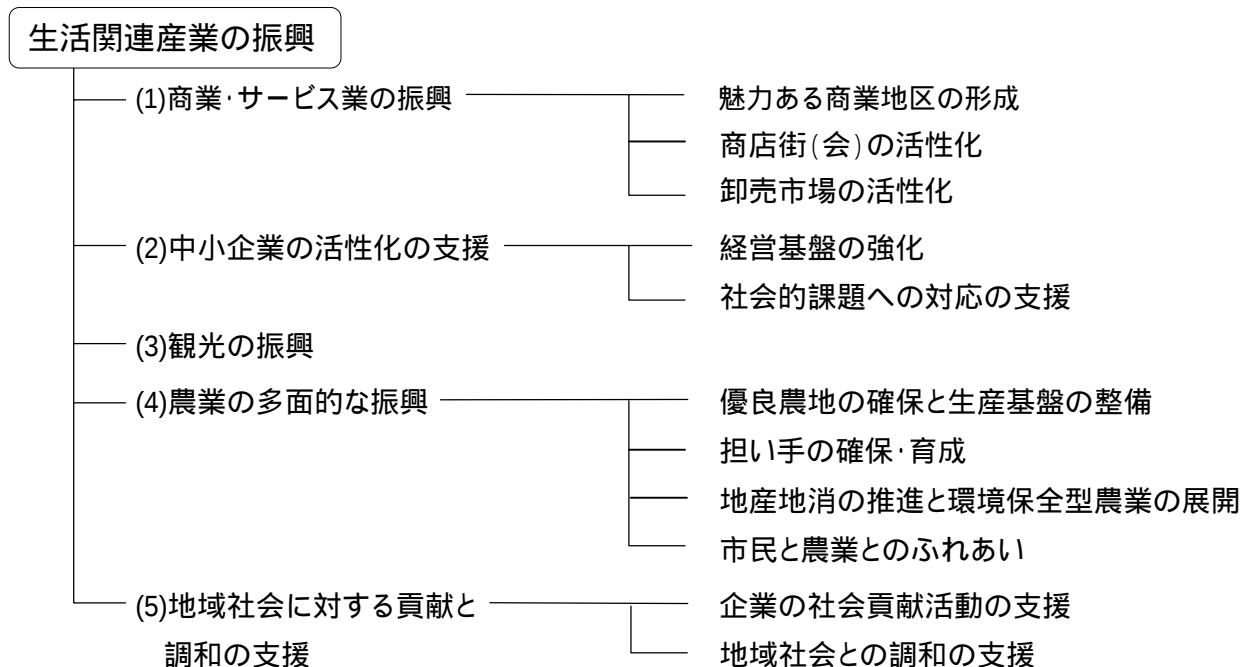
資料：平成15年工業統計より作成

注）従業者1人当たり付加価値生産額上位10業種のみ掲出。岩槻市を含む。



## 第2節 生活関連産業の振興

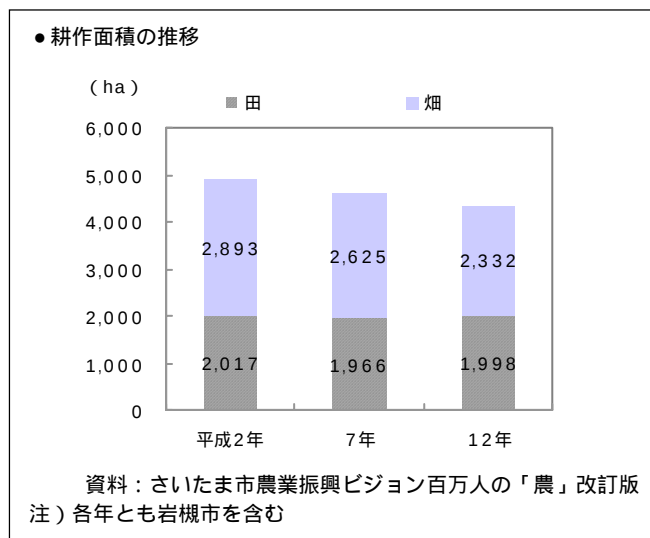
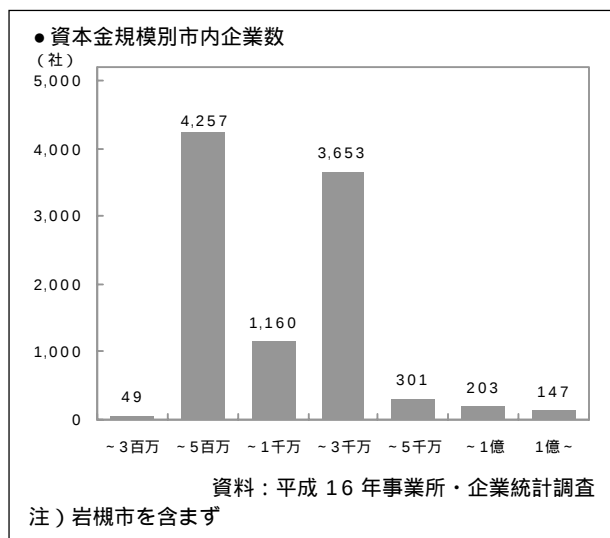
### ■ 施策体系



### 施策の方向性

中心市街地の商業の振興と商店街の活性化を支援します。  
 中小企業の安定的な経営を支えます。  
 本市特有の資源を活用した観光を振興します。  
 環境保全型農業を拡大します。

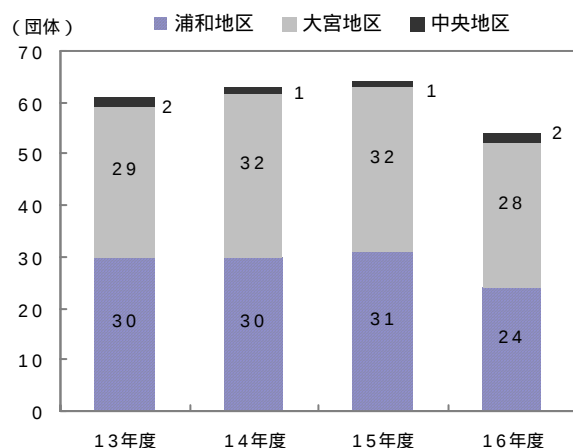
### 参考データ



## ■実施計画事業

| 事業の名称と概要<br>〔担当課室〕                                                                                                | 計画目標         |         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|
|                                                                                                                   | 現況〔平成17年度当初〕 | 平成20年度末 |
| <b>中心市街地活性化事業の推進（再掲 p82）</b><br>駅を中心とした地域の核となるような、大きな賑わいを創出する事業に取り組む商店街を支援するなど、商業と商店街の活性化を図ります。<br>〔経済政策課〕        | 推進           | 推進      |
| <b>商店街コミュニティサポート事業</b><br>商店街が実施する空き店舗活用の事業に対し補助を行うことにより、空き店舗の有効利用を行うとともに、地域コミュニティの核である商店街の活性化を図ります。<br>〔経済政策課〕   | 実施商店街数<br>1  | 11      |
| <b>中小企業支援機関との連携（再掲 p106）</b><br>さいたま市産業創造財団を核として、学術研究機関や技術支援機関、県、商工会議所などとの連携を推進することで、中小企業支援体制の充実を図ります。<br>〔経済政策課〕 | 推進           | 推進      |

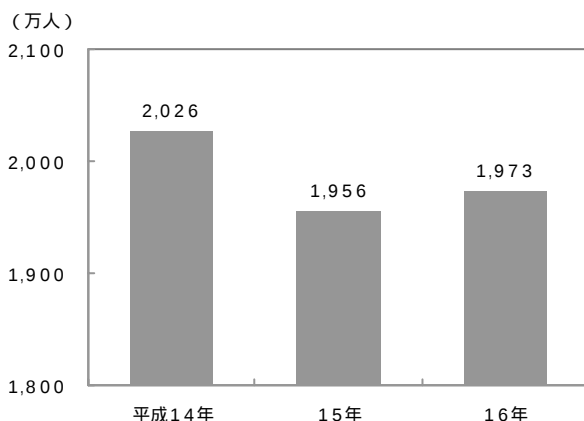
## ●商店街活性化推進事業補助活用団体数



商店街が販売促進やイベントなどを実施した場合、その費用の一部を補助する制度を活用した商店街の数である。

資料：環境経済局経済部経済政策課

## ●さいたま市入込観光客数の推移



入込観光客数とは、市外・市内からを問わず、寺社参詣や文化財等の見学、ハイキング、花見、まつりの見物、スポーツ観戦、観光農業などの観光、レクリエーション活動を目的（他の目的と兼ねる場合も含む）にさいたま市を訪れた4歳以上の来訪者の数

注）各年とも岩槻市を含む

資料：環境経済局経済部経済政策課観光政策室

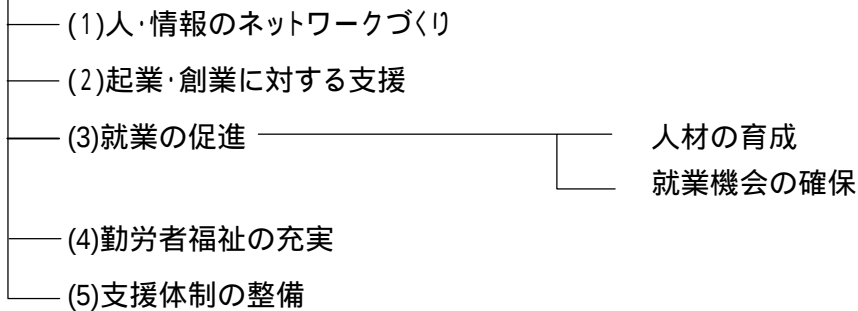
| 事業の名称と概要<br>〔担当課室〕                                                                                                                               | 計画目標                |               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------|
|                                                                                                                                                  | 現況〔平成17年度当初〕        | 平成20年度末       |
| <p>コンベンション事業の推進（再掲 p121）</p> <p>ヒト、モノ、情報などの交流を通して、地域の国際化や経済の活性化を図るため、コンベンションの開催の宣伝や誘致、支援などを行います。</p> <p>〔観光政策室〕</p>                              | 推進                  | 推進            |
| <p>さいたま市民まつりの開催（再掲 p129）</p> <p>市民相互の交流と融和を図るため、市民参加型の複合型イベントとして、イルミネーションパレードや市民参加のパフォーマンスなどによる市民まつりを毎年開催します。</p> <p>〔観光政策室〕</p>                 | 来場者数<br>35 万人 / 年   | 50 万人 / 年     |
| <p>盆栽文化の振興・活用（再掲 p71）</p> <p>盆栽文化振興・活用基本構想に基づき、盆栽関連施設を整備し、施設を核とした盆栽文化ネットワークを構築します。また、盆栽村の積極的な PR を行い、盆栽文化を振興します。</p> <p>〔総合政策担当・文化振興課・観光政策室〕</p> | 盆栽村来訪者<br>20 万人 / 年 | 40 万人 / 年     |
| <p>鉄道博物館の整備促進（再掲 p71）</p> <p>東日本鉄道文化財団による鉄道博物館の整備に伴い、本市の地域資源である鉄道文化を生かした魅力あるまちづくりを促進します。</p> <p>〔文化振興課〕</p>                                      | 促進                  | 完成<br>（19 年度） |
| <p>（仮）岩槻人形会館整備事業（再掲 p72）</p> <p>さいたま市の伝統文化のひとつである人形文化を広く内外に発信し、生きた文化として継承するため、地域の魅力とにぎわいを高める拠点ともなる（仮）岩槻人形会館を整備します。</p> <p>〔文化振興課〕</p>            | 構想・検討               | 完成            |

| 事業の名称と概要<br>〔担当課室〕                                                                                                           | 計画目標                 |                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|---------------------------------|
|                                                                                                                              | 現況〔平成17年度当初〕         | 平成20年度末                         |
| <b>地産地消事業の展開</b><br>農業振興ビジョンに基づき、農産物を市内で生産消費する仕組みを整備するとともに、市内商工農の産業連携をサポートするランドコーディネーターを育成し、地産地消運動を展開します。<br>〔農政課〕           | ランドコーディネーター数<br>0名   | 90名                             |
| <b>農業生産基盤整備の推進</b><br>農業生産効率の向上のため、ほ場（農場）整備や周辺環境整備などを行います。<br>〔農政課〕                                                          | 土地基盤整備事業の受益面積<br>0ha | 130ha                           |
| <b>農業振興地域整備計画全体見直し事業</b><br>優良農地の保全確保を図るため、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、農業振興地域整備計画の見直しを行います。<br>〔農政課〕                                 | 検討                   | 合併に伴う農業振興地域整備計画見直し終了<br>（18年度）  |
| <b>都市農業の充実</b><br>都市農業の充実を図るため、農業後継者の育成や地域の担い手を認定農業者として育成することを推進すると共に、認定農業者の経営規模の拡大などを推進します。<br>〔農政課〕                        | 認定農業者数<br>140経営体     | 223経営体                          |
| <b>観光資源の充実・整備事業</b><br>来訪者がまちで集い、楽しみ、そして賑わう観光振興の基本理念・方向性・展開方策を明らかにする観光振興ビジョンを策定するとともに、観光資源の整備や、市内観光ルートの設定などを行います。<br>〔観光政策室〕 | 検討                   | 観光振興ビジョンの策定<br>（18年度）<br><br>推進 |

### 第3節 産業活動の活性化の環境づくり

#### ■ 施策体系

##### 産業活動の活性化の環境づくり



#### 施策の方向性

産学官連携を推進します

さいたま市産業創造財団を核として、起業家や中小企業の支援体制を確立します。  
就業の促進を図るとともに、誰もが働きやすい環境づくりを支援します。

#### 参 考 デ ー タ

##### ●さいたま市産業創造財団における相談件数

| 支援内容    | 相談企業数<br>(社) | 相談延件数<br>(件) |
|---------|--------------|--------------|
| 創 業     | 199          | 342          |
| 経営革新    | 204          | 526          |
| 金融      | —            | 3,715        |
| その他経営相談 | 80           | 90           |
| 計       | 483          | 4,673        |

平成16年4月～18年1月までの実績

##### ●さいたま市産業創造財団における研修・セミナー等開催実績

| 分 野        | 開催回数 | 参加人数  |
|------------|------|-------|
| 産学連携・新事業創出 | 9    | 895   |
| 経営全般       | 11   | 517   |
| 営業・販売支援    | 12   | 648   |
| 創業支援       | 6    | 354   |
| 合 計        | 38   | 2,414 |

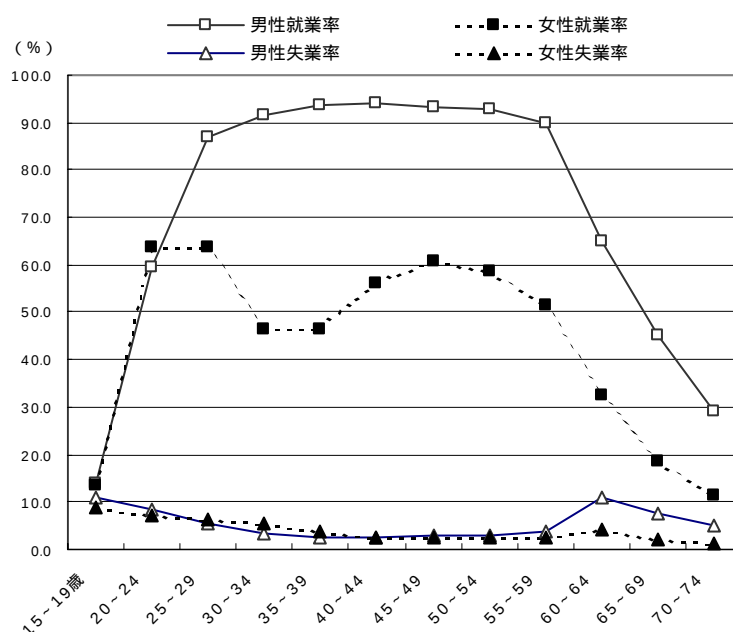
平成16年4月～18年1月までの実績

資料：いずれもさいたま市産業創造財団

## ■実施計画事業

| 事業の名称と概要<br>〔担当課室〕                                                                                                                                                             | 計画目標              |           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-----------|
|                                                                                                                                                                                | 現況〔平成17年度当初〕      | 平成20年度末   |
| <b>産学官連携推進事業</b><br>大学などの研究機関、産業界、行政が連携・協力を推進し、本市産業の活力向上を図ります。そのために、企業ニーズと研究者シーズ(大学の知的資源等)をマッチングさせるコーディネーターの設置や、産学連携をテーマとする研修会・講演会などを開催します。<br>〔経済政策課〕                         | 推進                | 推進        |
| <b>商工見本市の開催(再掲 p98)</b><br>市内外の製造業を中心とする展示会を開催し、商工業の振興を図ります。<br>〔経済政策課〕                                                                                                        | 来場者数<br>45,000人/年 | 50,000人/年 |
| <b>起業家支援事業の推進</b><br>さいたま市産業創造財団を通じて、起業準備段階では、テスト起業の機会提供や民間インキュベーション施設に関する情報提供などを、また、起業後は窓口相談や専門家派遣、セミナーなどを通じて、企業の成長・発展を支援します。また、小中学生に対する早期起業家教育を実施し、起業家精神の醸成を図ります。<br>〔経済政策課〕 | 推進                | 推進        |

●市内の男女別年齢別就業率・完全失業率



平成12年10月1日現在

就業率 = 就業者数 / 5歳階級別の人口

完全失業率 = 完全失業者数 / 5歳階級別の就業者数 + 完全失業者数 (労働力人口)

資料：平成12年国勢調査より作成

注) 岩槻市を含む

| 事業の名称と概要<br>〔担当課室〕                                                                                                                       | 計画目標                                   |                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------|
|                                                                                                                                          | 現況〔平成17年度当初〕                           | 平成20年度末                             |
| <b>障害者就労支援事業（再掲 p47）</b><br>就労機会の拡大や職場定着を図るため、障害者就労支援センターを設置するとともに、福祉的就労先である授産施設や小規模作業所の運営を支援します。<br>〔障害福祉課〕                             | 養護学校等卒業生の就労率（福祉的就労を含む）<br>25%          | 40%                                 |
| <b>ファミリー・サポート・センターの充実</b><br>（再掲 p39,126）<br>仕事と育児の両立を支援するため、援助を受けたい会員、援助をする会員からなる互助制度であるファミリー・サポート・センターの運営を充実します。<br>〔保育課〕              | 会員数<br>2,359 人<br><br>活動件数<br>12,293 件 | 3,500 人<br><br>18,450 件             |
| <b>シルバー人材センターの充実・シルバーバンク事業</b><br>（再掲 p43,129）<br>高齢者の就業機会を確保し、活力ある新しい地域社会づくりを目指すシルバー人材センターの充実と、団塊の世代の社会参加を図るシルバーバンク事業を実施します。<br>〔高齢福祉課〕 | 会員数<br>3,395 人                         | 充実<br><br>シルバーバンクの創設                |
| <b>就労支援体制の整備</b><br>厳しい雇用情勢や働き方の多様化に対処するため、労働関係の情報提供や各種セミナーなどを行うとともに、キャリアカウンセラーによる職業相談など、就労支援体制を整備します。<br>〔労政経済課〕                        | 推進                                     | 充実                                  |
| <b>勤労者福祉サービスセンターの充実</b><br>中小企業に勤務する勤労者や事業主を対象に、生活安定事業や健康の維持増進事業などを行う勤労者福祉サービスセンターの充実を進めます。<br>〔労政経済課〕                                   | 会員数<br>4,188 名                         | 15,000 名                            |
| <b>中小企業支援機関との連携（再掲 p101）</b><br>さいたま市産業創造財団を核として、学術研究機関や技術支援機関、県、商工会議所などとの連携を推進することで、中小企業支援体制の充実を図ります。<br>〔経済政策課〕                        | 推進                                     | 推進                                  |
| <b>伝統産業活性化事業</b><br>地域に古くから根付いている産業の活性化と、その技術の伝承を図るため、（仮）伝統産業活性化条例を制定し、市内外への PR、後継者育成、新たな市場開拓等の支援を推進します。<br>〔経済政策課〕                      | 構想・検討                                  | （仮）伝統産業活性化条例制定<br>（19 年度）<br><br>推進 |